

はじめて

手にする絵本



絵本っていつから読むといいの？

お座りができる頃から、ひざにのせて絵本を開いてみましょう。

文字が読めなくても、大好きな人の語りかけは赤ちゃんに安心感を

与えます。赤ちゃんと一緒に、絵本の時間を楽しみましょう。

お気に入りができたなら、くり返し読んであげてくださいね。

佐野市立図書館・田沼図書館・葛生図書館

絵本の紹介（はじめて手にする絵本）



『おつきさまこんばんは』

林 明子 さく 福音館書店

この本が好きな子は、お月さまに向かって「こんばんは」を楽しみます。そのすがたのかわいいことかわいこと…。

お月さまのやさしい表情に赤ちゃんもにっこりする一冊です。



『じゃあじゃあびりびり』

まつい のりこ 作・絵 偕成社

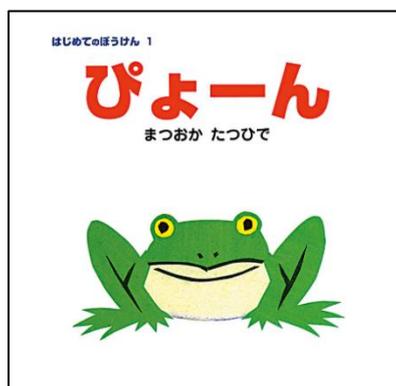
犬に「ワンワン」と声をかけたり、紙をびりびりやぶいて楽しむ頃に飽きずに赤ちゃんが楽しめる一冊です。



『いないいないばあ』

松谷 みよ子 ぶん 瀬川 康男 え 童心社

赤ちゃんはみんな「いないいないばあ」が大好きです。ページをめくるたびに、かわいい笑顔になったら、おひざにだっこして読んであげてください。



『ぴょーん』

まつおか たつひで 作・絵 ポプラ社

かえる、こねこ、いぬ、ばったなど、いろいろな生き物が次々に「ぴょーん」と、とびはねます。

「ぴょーん」に合わせて赤ちゃんを「高い高い」してあげると、にっこり、楽しそう。

赤ちゃんと触れ合いながら楽しめる絵本です。



『おひさまあはは』

前川 かずお 作・絵 こぐま社

おひさまが、お花が、子犬が、魚が、みんなが「あはは」と楽しそうに笑っています。

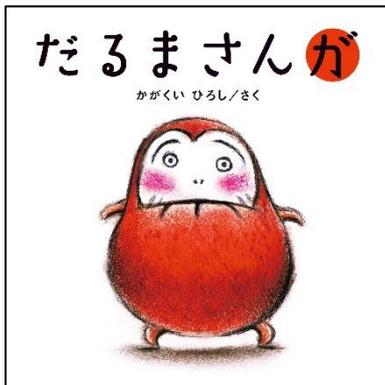
読みながら「あはは」と声に出して一緒に笑うと、元気になる絵本です。



『あかちゃんにこにこ』

いしかわ こうじ 作・絵 ポプラ社

赤ちゃんのいろいろな表情がとてもわかりやすく描かれています。隣に並んだ動物たちは赤ちゃんの表情をまねっこします。さまざまな表情を見て、楽しめる絵本です。



『だるまさんが』

かがくい ひろし さく ブロンズ新社

柔らかそうな丸くて赤いだるまさんが伸びたり縮んだり、転んだり、笑ったり…。

リズムに合わせて一緒に楽しめ、だるまさんの表情にほっこりする絵本です。



『まるてんいろてん』

中辻 悦子 さく 福音館書店

赤、青、黄色、緑など色とりどりのまるが並んだり、くっついたり、大きくなったり、小さくなったり…。ページをめくるたびに画面いっぱいに広がるまるの表情が鮮やかで、赤ちゃんも楽しめる絵本です。